

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

① 対象者	内視鏡的逆行性膵胆管造影検査（ERCP）の際に十二指腸狭窄があり、下記に示すような穿孔予防の手技的工夫を用いた方			
② 研究課題名	十二指腸狭窄例における側視鏡挿入時の穿孔予防のための工夫に関する有用性			
③実施予定期間	承認日 ～ 2020 年 3 月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	石渡裕俊	所属	静岡がんセンター 内視鏡科
⑥当院の研究代表者	氏名	石渡裕俊	所属	静岡がんセンター 内視鏡科
⑦使用する検体・データ	電子カルテ情報			
⑧目的	腫瘍性の閉塞性黄疸に対して ERCP を行う際、十二指腸狭窄に遭遇することは少なくありません。十二指腸狭窄では内視鏡を進めるべき管腔が目視できず、無理な内視鏡操作による穿孔の危険性が高いと考えられます。当院では、ERCP 時の十二指腸狭窄突破時の穿孔予防の対策として、手技的な工夫を行っています。今回の研究はその工夫の安全性と有用性を評価することを目的とします。			
⑨方法	2017 年 10 月から 2018 年 9 月までに当院で ERCP を施行した患者さんの中から、下記の工夫を用いた患者さんを対象としました。工夫の実際のやり方は、まず内視鏡を十二指腸狭窄部の手前まで進め、そこからまずガイドワイヤーを挿入して狭窄部を突破させた。ガイドワイヤーを通してカニューラを十二指腸水平部まで誘導したのち、カニューラとガイドワイヤーをレールのように使用して内視鏡を進めるという方法です。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2018 年 10 月 15 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長